京都大学研究データ管理シンポジウム

オープンサイエンスに向けた研究データ管理支援の現状と課題

参加費無料

2026 2/27 (Fri)
13:30-17:40

オープンサイエンスの実現に向けて、大学等研究機関では研究データ管理の基盤整備が進んでいます。
本シンポジウムでは、研究大学における基盤整備の現状や課題を共有し、今後進むべき方向について議論を深めていきます。

開催方式

対面：京都大学国際科学イノベーション棟 5F HORIBAシンポジウムホール
オンライン：ZOOM

イベント終了後に情報交換会を実施いたします。
【時間】 18:00-19:30
【場所】 会場隣スペース　ホワイエ
【お支払い方法】別途参加費 1,000円 が必要です。
※クレジットカード決済のみ　※お申し込みフォームにて受付

申込期間

2026年2月16日（月）17:00 まで
※申込多数の場合は早めに締め切る可能性がございます。

定員

200名（現地）

お申し込みフォームはこちら
https://business.form-mailer.jp/fms/8f8010d9325802

プログラム

13:30-13:35	開会挨拶　岡部 寿男 (京都大学 情報環境機構長)
13:35-13:45	オープニング・スピーチ　引原 隆士 (京都大学 情報基盤・図書館担当理事)
13:45-14:25	基調講演：データ基盤から知識基盤へ　黒橋 禎夫 (国立情報学研究所長)
14:55-15:15	講演 I　大阪大学のデータ集約基盤ONIONの誕生と成長経緯 伊達 進 (大阪大学 D3センター 教授)
15:15-15:35	講演 II　ONION を活用したデータ管理システム形成に向けた初期事例： 研究管理・人文社会・理工・医療へ広がる分野横断的取り組み 甲斐 尚人 (大阪大学 D3センター 准教授)
15:45-16:05	講演III　京都大学の研究データ管理支援の体制とそれを支える基盤・サービス 渥美 紀寿 (京都大学 情報環境機構 教授)
16:05-16:15	講演IV　学術情報メディアセンターが提供するエッジコンピューティング基盤とその活用例 小谷 大祐 (京都大学 学術情報メディアセンター 准教授) 井阪 悠太 (京都大学 情報環境機構 特定講師)
16:15-16:25	講演V　KURENAIが実現するオープンアクセス 西岡 千文 (京都大学 情報環境機構 准教授)
16:55-17:35	パネルディスカッション テーマ：大学におけるこれからの研究データ管理支援 モデレーター：渥美 紀寿 (京都大学 情報環境機構 教授)
17:35-17:40	閉会挨拶　引原 隆士 (京都大学 情報基盤・図書館担当理事)
18:00-19:30	情報交換会

お問い合わせ

京都大学研究データ管理シンポジウム事務局
（京大オリジナル株式会社）
E-mail：kensyu@kyodai-original.co.jp

京都大学　京都大学 情報環境機構 iimc Institute for Information Management and Communication